

明るく清潔感のある専用ラウンジ付きセットアップオフィス

既存ビルをリモーテル(再構築)でリーシング強化



ノットコーポレーション
取締役
神谷 奈緒美氏

「多様性のある空間づくり」で付加価値を向上

ビルの外観・エントランスや共用部のリモーテル(再構築)提案を行った。

阪市中央区は、ワキタ(大阪市西区)が所

「五橋ビジネスセン

タービル」はJR「仙台」駅からほど近い、

多くのオフィスや店舗

ビル」が集まる人気エリアに

ある地上5階(延床

面積5328m²)は、各階共用部廊下

・59間(59m)のほか、空室と

なった複数区画の新規

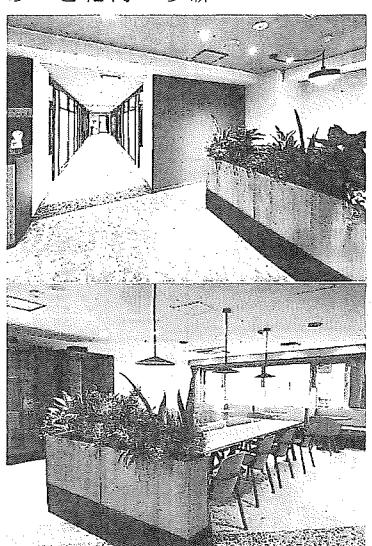
1993年にリニューアル。入居テ

ナント企業の移設工事

3年後に複数

の廊下にリサイクル素材の床材を採用している

▲レセプションホールの改修前(写真左)と改修後(写真右)。共用



コーポレーション取締役の神谷奈緒美氏は語

る。リモーテル後は内覧会

が開催され

参加者ア

ンケートからも近隣に

はないグレード感のビ

ルだと高い評価を得る

とともに、入居企業も

確実に決定していると

いう。

さすがに神谷氏は「今

回のプロジェクトで

は、近隣のビルとの差

別化を図るのみでは欠

かせない『ビルの付加

価値』をオーナー様と

一緒に模索し、表現す

ることで、ボンチ

ることで、考え

ています。内覧頂いた

アイデアをつみ

て、ビルの中でも気軽に

転換ができる

ことができただと考

えます」とノット

語る。

得意としているノット(青葉区)のリモーテル工事を行った。社屋建設により退去する新規テナント獲得に向けてリーシングの強化を図るべくリモーテルを行つことになったため、行つことになった。

今回実施されたのは、各階共用部廊下(延床面積5328m²)トイレ、エントランス周り)のほか、空室となる複数区画の新規リフレッシュルーム。今回は改修予定期間にコロナ禍による働き方の多様化が進んだことを鑑み、費用の軽減を実現するため、生産性の向上を図るために、短期間での入居を可能にするべく専用ラウンジ付オフィスに変更することを検討。また、環境問題に配慮し、共用部は全フロアの3つの空間を新しくして、ビルの付加価値向上を実現している。スケッチアップオフィスに来るにあたっては、ビルの収益力をあげるうえで、大変うれしく思うことがあります。内覧頂いたアイデアをつみ、同時に、これからワークスタイルが劇的に変化する中で、オフィスビルの在り方を大きく変えて、かつオフィスに来るにあたっては、ビルの収益力をあげるうえで、後のクライアント様へ提供したいというビルも、今後さらに重要視されるべきポイントだと考

えています」とノット

語る。